

路線・地域の概要

まちづくりの方向性	「南奈良総合医療センター」及び「五條病院」へのアクセス確保 公共交通を活用した来訪者の利用促進による地域活性化
関係市町村	五條市、野迫川村、十津川村
主な沿線施設	五条駅、五條市役所、西吉野支所、大塔支所、十津川村役場、五條病院、五條高校、智辯学園高校、五條高校賀名生分校、十津川高校、五條新町、五新鉄道跡、大塔温泉、道の駅吉野路大塔、谷瀬の吊橋、湯泉地温泉、道の駅十津川郷、十津川温泉、イオン五條店
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 14.2%(H22)⇒14.2%(H32) 登校: 88.1%(H22)⇒89.3%(H32) 通院: 25.8%(H22)⇒25.8%(H32)</p> <p>買物(平日): 17.8%(H22)⇒17.8%(H32) 買物(休日): 13.2%(H22)⇒24.1%(H32)</p> <p>業務: 9.2%(H22)⇒9.2%(H32) 観光: 44.8%(H22)⇒56.1%(H32)</p> <p>■外出率: 72.0%(H22)⇒72.0%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>路線沿線の人口増加率]</p> <p>八木新宮線: 81,964人(H26) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・十津川村: 291,707人(H26)</p> <p>十津川線: 17,065人(H26) ⇔ 五條市・十津川村: 36,014人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>五条駅: 663,935人(H25) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・十津川村: 293,989人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>五条駅: 67.0%(H22)⇒67.0%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

実施事業

事業①	南奈良総合医療センター通院ライン
実施内容	南奈良総合医療センターの開院にあわせて、五條BC～福神駅～医療センターのコミュニティバスを運行し、五條BC乗換による南部からの病院アクセスを確保
実施主体	五條市
実施効果	病院へのアクセス確保
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑤	路線バスとコミュニティバスの連携
実施内容	コミュニティバスと路線バスの円滑な乗継の確保
実施主体	奈良交通、五條市、野迫川村、十津川村
実施効果	病院へのアクセス確保、利便性の向上
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑨	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春

事業②	大型店舗を活用した情報発信の検討
実施内容	五條BC周辺の大型店舗を活用した特産品などの情報発信の検討
実施主体	五條市
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑥	南部・東部地域宿泊者限定路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン(予定)
実施内容	奈良県南部東部地域宿泊者に、路線バスの運賃を助成
実施主体	奈良県
実施効果	来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 冬(予定)

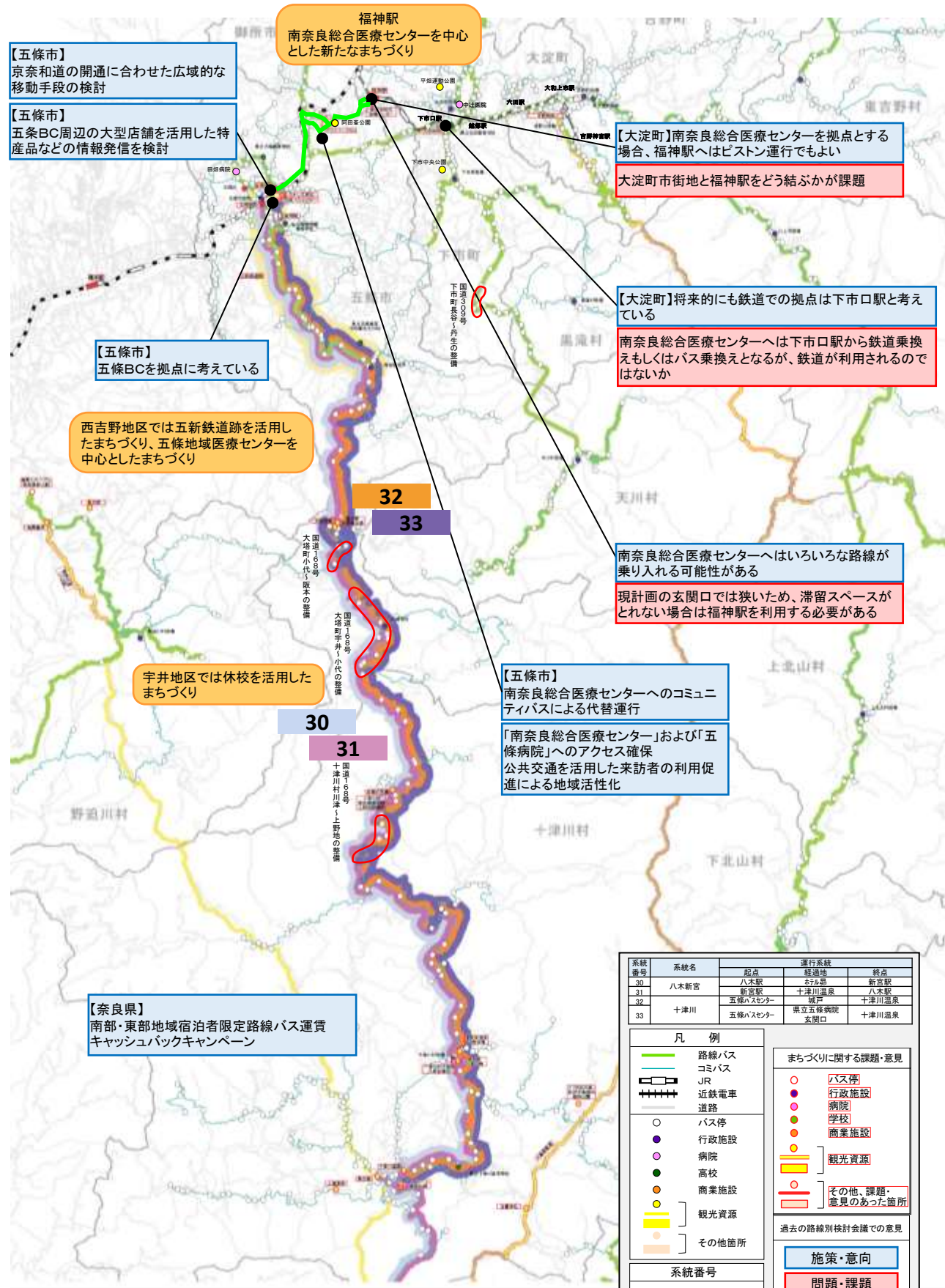
事業⑩	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業③	広域的な移動手段の検討
実施内容	京奈和自動車道の開通に合わせた広域的な移動手段の検討
実施主体	五條市
実施効果	来訪者数の増加、利便性の向上
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑦	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、八木新宮線、十津川線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ~ H28. 9(毎年PDCA)

事業④	路線バスを活用した沿線市町村のPR
実施内容	八木新宮線に沿線市町村をPRするラッピングバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3(H27. 11より実施)

事業⑧	車両購入費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、八木新宮線を走行するノンステップバスの購入費等を補助
実施主体	奈良県
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ~ H28. 9



系統番号	系統名	起点	経路地	終点
30	八木新宮	八木駅	キルル郡	新宮駅
31	十津川	五條バスセンター	十津川温泉	八木駅
32	十津川	五條バスセンター	興立五條病院	十津川温泉
33	十津川	五條バスセンター	玄関口	十津川温泉

凡例

- 路線バス
- コミュニティバス
- JR
- 近鉄電車
- 道路
- バス停
- 行政施設
- 病院
- 高校
- 商業施設
- 観光資源
- その他箇所

まちづくりに関する課題・意見

- バス停
- 行政施設
- 病院
- 学校
- 商業施設
- 観光資源
- その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見

系統番号

30 31 32 33

施策・意向

問題・課題

まちづくりアイデア

路線・地域の概要

まちづくりの方向性	「南奈良総合医療センター」及び「福神駅」へのアクセス確保
関係市町村	五條市、大淀町
主な沿線施設	福神駅、下市口駅、南奈良総合医療センター、五條バスセンター、大淀バスセンター
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤:16.3%(H22)⇒16.3%(H32) 登校:87.4%(H22)⇒87.4%(H32) 通院:23.7%(H22)⇒23.7%(H32) 買物(平日):16.7%(H22)⇒16.7%(H32) 買物(休日):12.5%(H22)⇒12.5%(H32)</p> <p>業務:11.7%(H22)⇒24.6%(H32) 観光:46.0%(H22)⇒46.0%(H32)</p> <p>■外出率:75.2%(H22)⇒78.0%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>路線沿線の人口増加率]</p> <p>大淀五條線:7,431人(H26) ⇔ 五條市・大淀町:50,647人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>福神駅:425,846人(H25) ⇔ 五條市・大淀町:51,599人(H25)</p> <p>五條駅:663,935人(H25) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・十津川村:293,989人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>福神駅:60.0%(H22)⇒97.5%(H32) 五條駅:67.0%(H22)⇒67.0%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度:H27からH32にかけて上昇</p>

実施事業

事業①	南奈良総合医療センター通院ライン
実施内容	南奈良総合医療センターの開院にあわせて、五條BC～福神駅～医療センターのコミュニティバスを運行し、五條BC乗換による南部からの病院アクセスを確保
実施主体	五條市
実施効果	病院へのアクセス確保
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業②	コミュニティバスの再編
実施内容	南奈良総合医療センターの開院にあわせて、コミュニティバスを再編
実施主体	大淀町
実施効果	病院へのアクセス確保、利便性の向上
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業③	市道の整備
実施内容	国道370号から南奈良総合医療センターへのアクセス道路を整備
実施主体	五條市
実施効果	南奈良総合医療センターへのアクセス利便性向上
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業④	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

系統番号	系統名	運行系統	経路	起点	終点
34a	大淀五條			下市口駅	五條バスセンター

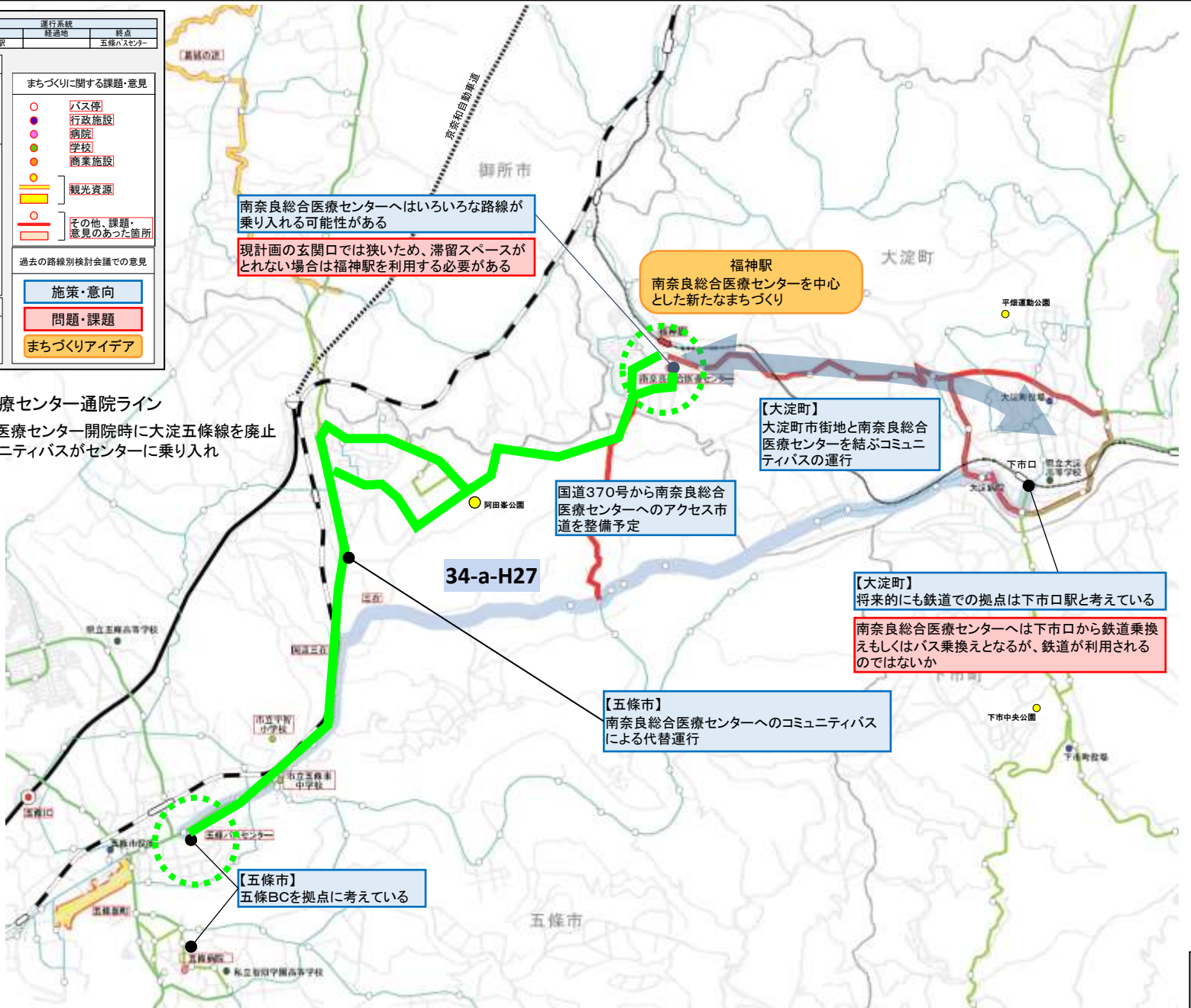
凡 例	まちづくりに関する課題・意見
<ul style="list-style-type: none"> 路線バス コミバス JR 近鉄電車 道路 バス停 行政施設 病院 高校 商業施設 観光資源 その他箇所 	<ul style="list-style-type: none"> バス停 行政施設 病院 学校 商業施設 観光資源 その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見

施策・意向
問題・課題
まちづくりアイデア

系統番号
34-a-H27
※-H27はH27.10に変更した系統

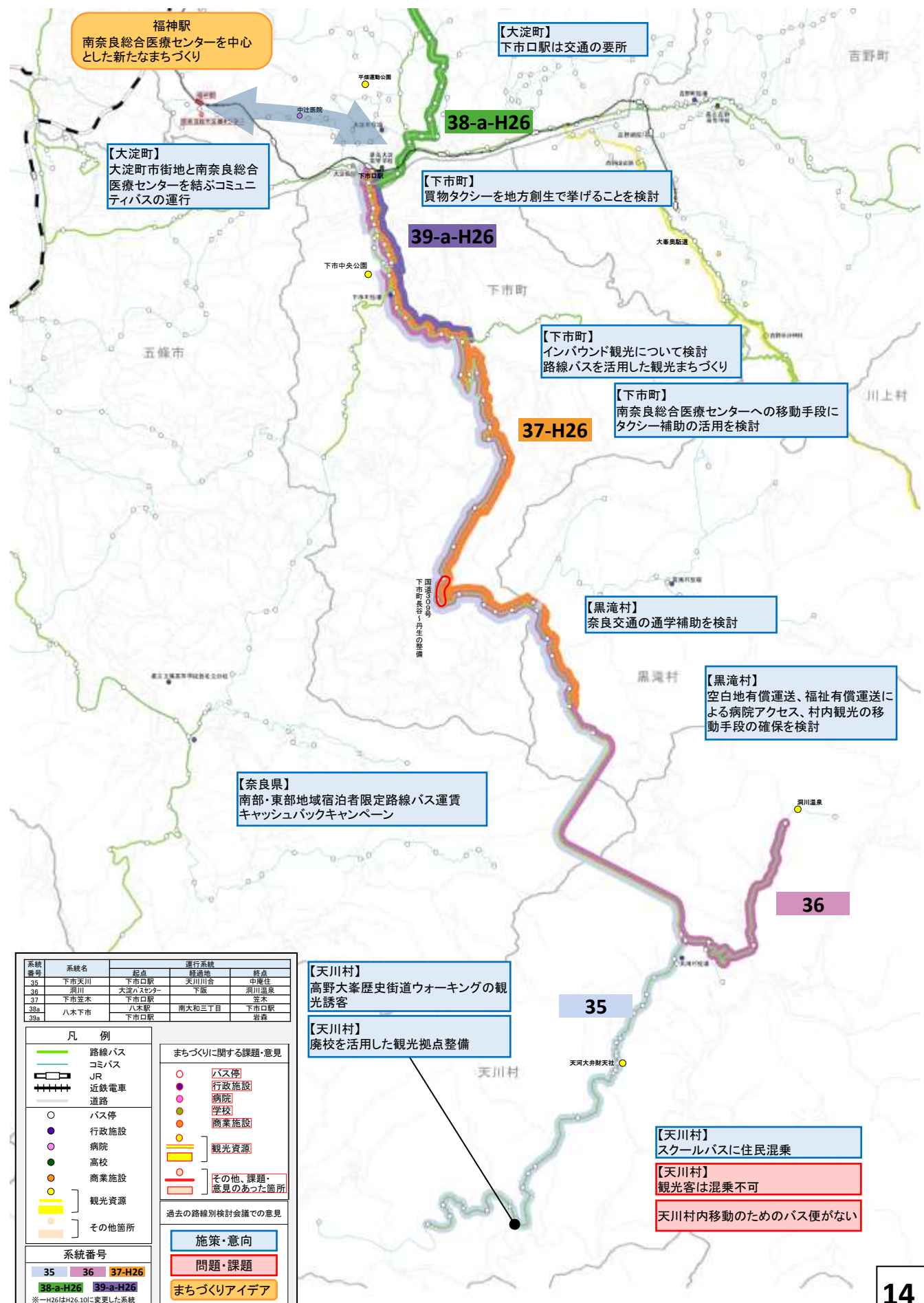
34-a-H27 : 南奈良総合医療センター通院ライン
 ※南奈良総合医療センター開院時に大淀五條線を廃止
 五條市コミュニティバスがセンターに乗り入れ



路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	「南奈良総合医療センター」及び「福神駅」へのアクセス確保 洞川温泉等の観光による誘客
関係市町村	大淀町、下市町、黒滝村、天川村
主な沿線施設	下市口駅、下市町役場、天川村役場、大淀高校、洞川温泉、天河大弁財天社、大峯奥駈道
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 18.2%(H22)⇒18.2%(H32) 登校: 88.5%(H22)⇒88.5%(H32) 通院: 16.9%(H22)⇒20.5%(H32)</p> <p>買物(平日): 15.4%(H22)⇒15.4%(H32) 買物(休日): 12.0%(H22)⇒12.0%(H32)</p> <p>業務: 18.7%(H22)⇒31.6%(H32) 観光: 20.0%(H22)⇒20.0%(H32)</p> <p>■外出率: 74.5%(H22)⇒77.4%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>路線沿線の人口増加率]</p> <p>下市天川線: 20,040人(H26) ⇔ 大淀町・下市町・黒滝村・天川村: 26,724人(H26)</p> <p>洞川線: 25,703人(H26) ⇔ 大淀町・下市町・黒滝村・天川村: 26,724人(H26)</p> <p>下市笠木線: 2,268人(H26) ⇔ 大淀町・下市町・黒滝村: 25,341人(H26)</p> <p>八木下市線: 34,115人(H26) ⇔ 橿原市・高取町・明日香村・大淀町・下市町: 162,808人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>下市口駅: 658,169人(H25) ⇔ 橿原市・高取町・明日香村・大淀町・下市町・黒滝村・天川村: 165,879人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>下市口駅: 56.4%(H22)⇒56.4%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

実施事業

<p>事業① コミュニティバスの再編</p> <p>実施内容 南奈良総合医療センターの開院にあわせて、コミュニティバスを再編</p> <p>実施主体 大淀町</p> <p>実施効果 病院アクセスの確保、利便性の向上</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H33. 3</p>	<p>事業⑤ 廃校を活用した観光拠点整備</p> <p>実施内容 バス停近くの廃校を活用し、観光拠点を整備</p> <p>実施主体 天川村</p> <p>実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H33. 3</p>	<p>事業⑨ 公共交通の利用促進</p> <p>実施内容 県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進</p> <p>実施主体 県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者</p> <p>実施効果 公共交通利用者数の増加</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H33. 3</p>
<p>事業② 公共交通空白地有償運送の導入</p> <p>実施内容 公共交通空白地有償運送により、路線バスと乗換え可能な道の駅等への村内の移動手段を確保</p> <p>実施主体 黒滝村(社会福祉協議会)</p> <p>実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H32. 3</p>	<p>事業⑥ 路線運行費補助</p> <p>実施内容 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、洞川線、下市天川線の路線運行費を補助</p> <p>実施主体 奈良県</p> <p>実施効果 バス路線の維持</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H28. 9(毎年PDCA)</p>	<p>事業⑩ 鉄道駅のバリアフリー化</p> <p>実施内容 下市口駅にスロープを設置し段差を解消</p> <p>実施主体 近畿日本鉄道</p> <p>実施効果 バリアフリー化の促進</p> <p>実施期間 H31. 4 ~ H32. 3</p>
<p>事業③ 福祉有償運送の導入</p> <p>実施内容 福祉有償運送により、病院へのアクセス手段を確保</p> <p>実施主体 黒滝村(社会福祉協議会)</p> <p>実施効果 病院アクセスの確保</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H32. 3</p>	<p>事業⑦ 南部・東部地域宿泊者限定路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン(予定)</p> <p>実施内容 奈良県南部東部地域宿泊者に、路線バスの運賃を助成</p> <p>実施主体 奈良県</p> <p>実施効果 来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加</p> <p>実施期間 H28. 冬(予定)</p>	
<p>事業④ 高野大峯歴史街道ウォーキング</p> <p>実施内容 五條市阪本から天川村中庵住までウォーキングコースを設定し、下市天川線の利用を促進</p> <p>実施主体 天川村、近畿日本鉄道、奈良交通</p> <p>実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H33. 3</p>	<p>事業⑧ 全国ICカード共通化</p> <p>実施内容 SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応</p> <p>実施主体 奈良交通</p> <p>実施効果 利便性の向上</p> <p>実施期間 H28. 春</p>	



系統番号	系統名	起点	終点	運行系統
35	下市天川	下市口駅	中庵住	路線バス
36	洞川	大淀バスセンター	洞川温泉	路線バス
37	下市笠木	下市口駅	笠木	路線バス
38a	八木下市	八木駅	下市口駅	コミュニティバス
39a	八木下市	下市口駅	岩森	コミュニティバス

凡例	
—	路線バス
—	コミュニティバス
—	JR
—	近鉄電車
—	道路
○	バス停
●	行政施設
●	病院
●	高校
●	商業施設
●	観光資源
●	その他箇所

まちづくりに関する課題・意見	
○	バス停
●	行政施設
●	病院
●	学校
●	商業施設
●	観光資源
●	その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見	
■	施策・意向
■	問題・課題
■	まちづくりアイデア

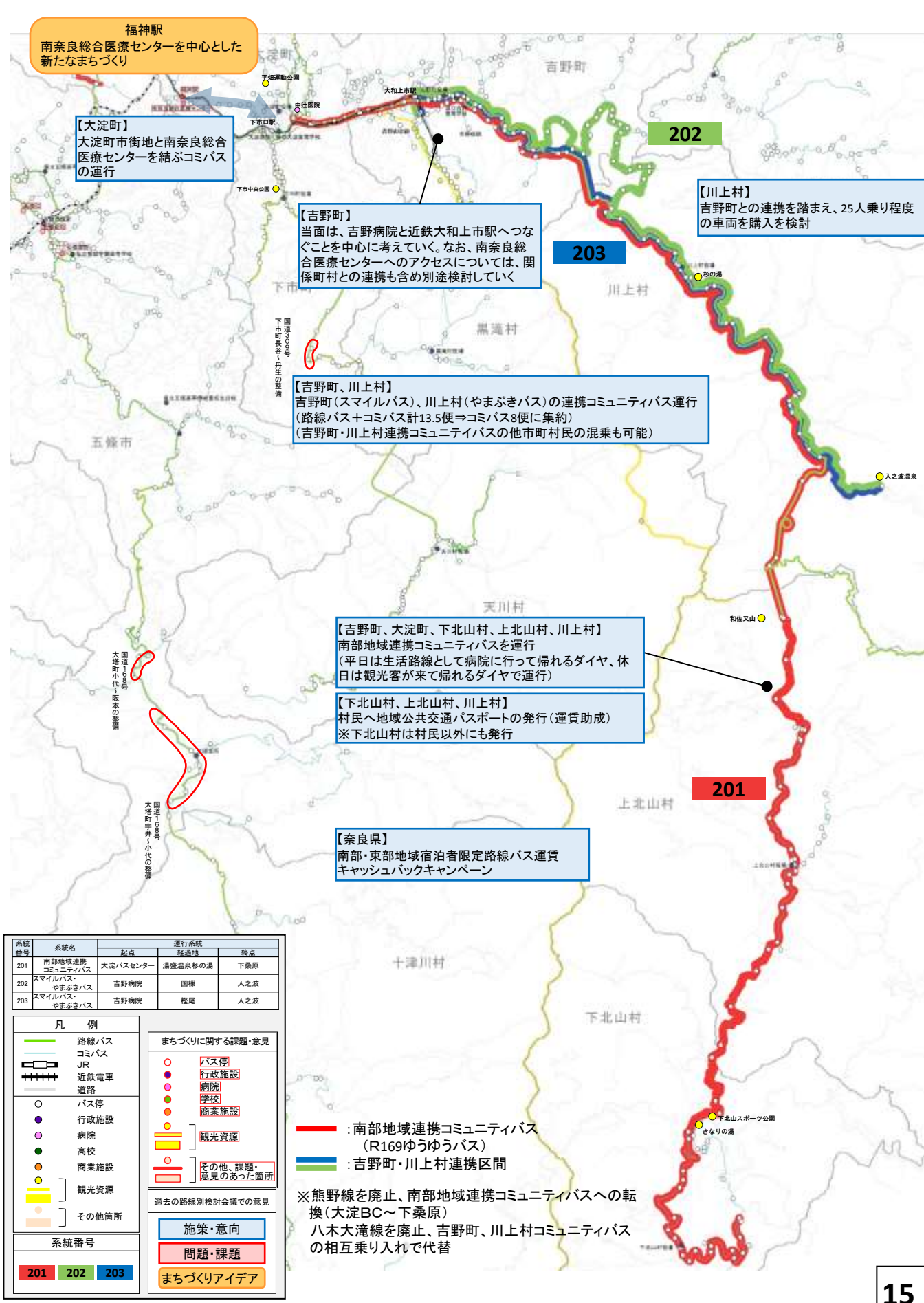
系統番号	
35	36
38-a-H26	39-a-H26

※-H26はH26.10に変更した系統

路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	隣接町村間の広域連携による生活交通・観光交通の確保 (「南奈良総合医療センター」及び「大和上市駅」へのアクセス確保)
関係市町村	吉野町、大淀町、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村
主な沿線施設	大和上市駅、大淀バスセンター、吉野町役場、下北山村役場、上北山村役場、川上村役場、吉野病院、吉野高校、きなりの湯、下北山スポーツ公園、和佐又山、杉の湯、大峯奥駈道、入之波温泉
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> 交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値) 出勤: 17.3%(H22)⇒17.3%(H32) 登校: 89.7%(H22)⇒89.7%(H32) 通院: 17.7%(H22)⇒21.3%(H32) 買物(平日): 15.2%(H22)⇒15.2%(H32) 買物(休日): 10.3%(H22)⇒10.3%(H32) 業務: 18.8%(H22)⇒31.7%(H32) 観光: 23.5%(H22)⇒23.5%(H32) ■外出率: 70.8%(H22)⇒73.6%(H32) ■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>路線沿線の人口増加率] 南部地域連携コミュニティバス: 17,792人(H26) ⇔ 吉野町・大淀町・下北山村・上北山村・川上村: 29,000人(H26) ■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率] 大和上市駅: 131,509人(H25) ⇔ 吉野町・大淀町・下北山村・上北山村・川上村: 29,700人(H25) ■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値) 大和上市駅: 59.7%(H22)⇒59.7%(H32) ■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇

実施事業

事業① 25人乗りバスの運行 実施内容 吉野町との連携を踏まえ、平成27年度に購入した、25人乗り程度の車両を購入 実施主体 川上村 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	事業⑤ 新たな路線バスの運行 実施内容 観光地を經由し、吉野下千本駐車場と大和八木駅を結ぶ路線バスを多客期に運行 実施主体 吉野大峯ケーブル自動車 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3(H27. 11より実施)	事業⑨ 全国ICカード共通化 実施内容 SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応 実施主体 奈良交通 実施効果 利便性の向上 実施期間 H28. 春
事業② 南部地域連携コミュニティバス(R169ゆうゆうバス)の運行 実施内容 路線バス熊野線の代替として、南部地域連携コミュニティバス(大淀BC~杉の湯~下桑原)を運行 実施主体 吉野町、大淀町、下北山村、上北山村、川上村 実施効果 来訪者数の増加、利便性の向上 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3(H27. 10より実施)	事業⑥ コミュニティバスの再編 実施内容 南奈良総合医療センターの開院にあわせて、コミュニティバスを再編 実施主体 大淀町 実施効果 病院へのアクセス確保、利便性の向上 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	事業⑩ 公共交通の利用促進 実施内容 県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進 実施主体 県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者 実施効果 公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3
事業③ コミュニティバスのPR 実施内容 南部地域連携コミュニティバスを各町村のホームページで案内、奈良交通のチラシによりPR 実施主体 吉野町、大淀町、下北山村、上北山村、川上村、奈良交通 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3(H27. 10より実施)	事業⑦ 南部・東部地域宿泊者限定路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン(予定) 実施内容 奈良県南部東部地域宿泊者に、路線バスの運賃を助成 実施主体 奈良県 実施効果 来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 冬(予定)	
事業④ 地域公共交通パスポートの発行(運賃補助) 実施内容 南部地域連携コミュニティバスの利用者に対し運賃を助成 実施主体 下北山村、上北山村、川上村 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3(H27. 10より実施)	事業⑧ 路線運行費補助 実施内容 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、南部地域連携コミュニティバスの路線運行費を補助 実施主体 奈良県 実施効果 地域公共交通の維持 実施期間 H28. 4 ~ H28. 9(毎年PDCA)	



路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	渋滞の解消による公共交通の定時制の回復 学研高山地区・公共施設へのアクセスの確保
関係市町村	奈良市、生駒市
主な沿線施設	学研奈良登美ヶ丘駅、学研北生駒駅、富雄駅、高の原駅、北コミュニティセンター、育英西高校、奈良北高校、奈良先端科学技術大学院大学、生駒北スポーツセンター、くろんど池
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値) 出勤: 54.6% (H22) ⇒ 55.3% (H32) 登校: 92.1% (H22) ⇒ 92.1% (H32) 通院: 44.7% (H22) ⇒ 44.7% (H32) 買物(平日): 46.8% (H22) ⇒ 46.8% (H32) 買物(休日): 28.3% (H22) ⇒ 28.3% (H32) 業務: 33.0% (H22) ⇒ 38.1% (H32) 観光: 61.3% (H22) ⇒ 67.6% (H32) ■外出率: 79.6% (H22) ⇒ 79.6% (H32) ■バスの利用者数(年間乗車人員) [乗車人員の増加率 > 路線沿線の人口増加率] 富雄庄田線: 166,782人 (H26) ⇔ 奈良市・生駒市: 482,302人 (H26) 高の原高山線: 63,835人 (H26) ⇔ 奈良市・生駒市: 482,302人 (H26) ■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員) [乗車人員の増加率 > 駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率] 高の原駅: 7,257,037人 (H25) ⇔ 奈良市・生駒市: 482,596人 (H25) 学研北生駒駅: 1,265,971人 (H25) ⇔ 奈良市・生駒市: 482,596人 (H25) 学研奈良登美ヶ丘駅: 2,453,808人 (H25) ⇔ 奈良市・生駒市: 482,596人 (H25) ■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値) 高の原駅: 86.0% (H22) ⇒ 89.7% (H32) 学研北生駒駅: 72.5% (H22) ⇒ 72.5% (H32) 学研奈良登美ヶ丘駅: 81.6% (H22) ⇒ 81.6% (H32) ■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇

実施事業

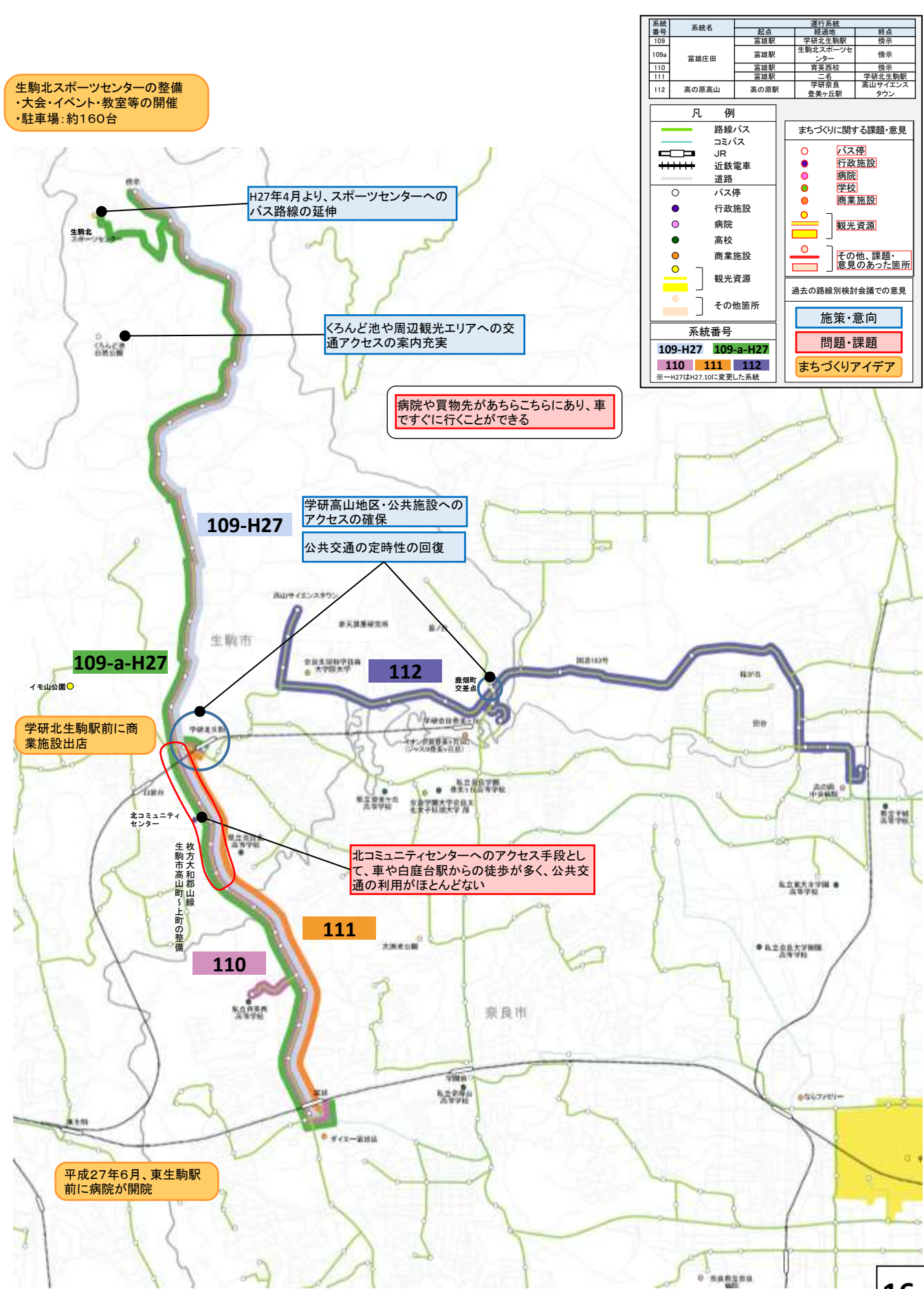
事業①	渋滞の解消に向けた検討
実施内容	渋滞によりバスの遅延が発生している箇所について、渋滞の解消に向けて検討
実施主体	国、奈良県、奈良市、生駒市、奈良県警察
実施効果	渋滞の解消、利便性の向上、公共交通の定時性の回復
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑤	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業②	ノンステップバスの導入
実施内容	富雄庄田線、高の原高山線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業③	鉄道駅のバリアフリー化
実施内容	高の原駅に内方線付点字ブロックを設置
実施主体	近畿日本鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ~ H29. 3

事業④	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春



系統番号	系統名	運行系統		
		起点	経路地	終点
109	富雄庄田	富雄駅	学研北生駒駅	傍示
109a		富雄駅	生駒北スポーツセンター	傍示
110		富雄駅	育英西高校	傍示
111		富雄駅	二名	学研北生駒駅
112	高の原高山	高の原駅	学研奈良登美ヶ丘駅	高山サイエンスタウン

凡 例		まちづくりに関する課題・意見
—	路線バス	
—	コミバス	● 行政施設
—	JR	● 病院
—	近鉄電車	● 学校
—	道路	● 商業施設
○	バス停	■ 観光資源
●	行政施設	○ その他、課題・意見のあった箇所
●	病院	過去路線別検討会議での意見
●	高校	■ 施策・意向
●	商業施設	■ 問題・課題
■	観光資源	■ まちづくりアイデア
○	その他箇所	

系統番号	
109-H27	109-a-H27
110	111
112	

※H27はH27.10に変更した系統

路線・地域の概要

まちづくりの方向性	「奈良県総合医療センター」、大規模商業施設へのアクセス等、生活交通の確保
関係市町村	奈良市、大和郡山市
主な沿線施設	近鉄郡山駅、大和郡山市役所、奈良リハビリテーション病院、郡山高校、イオンタウン富雄南
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 51.1% (H22) ⇒ 51.8% (H32) 登校: 92.4% (H22) ⇒ 92.4% (H32) 通院: 45.7% (H22) ⇒ 45.7% (H32)</p> <p>買物(平日): 45.9% (H22) ⇒ 45.9% (H32) 買物(休日): 26.9% (H22) ⇒ 26.9% (H32)</p> <p>業務: 32.0% (H22) ⇒ 37.1% (H32) 観光: 60.8% (H22) ⇒ 67.3% (H32)</p> <p>■外出率: 79.5% (H22) ⇒ 79.5% (H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>路線沿線の人口増加率]</p> <p>郡山若草台線: 47,007人(H26) ⇔ 奈良市・大和郡山市: 449,972人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>近鉄郡山駅: 3,723,404人(H25) ⇔ 奈良市・大和郡山市・斑鳩町: 478,465人(H25)</p> <p>■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>近鉄郡山駅: 87.4% (H22) ⇒ 87.4% (H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

実施事業

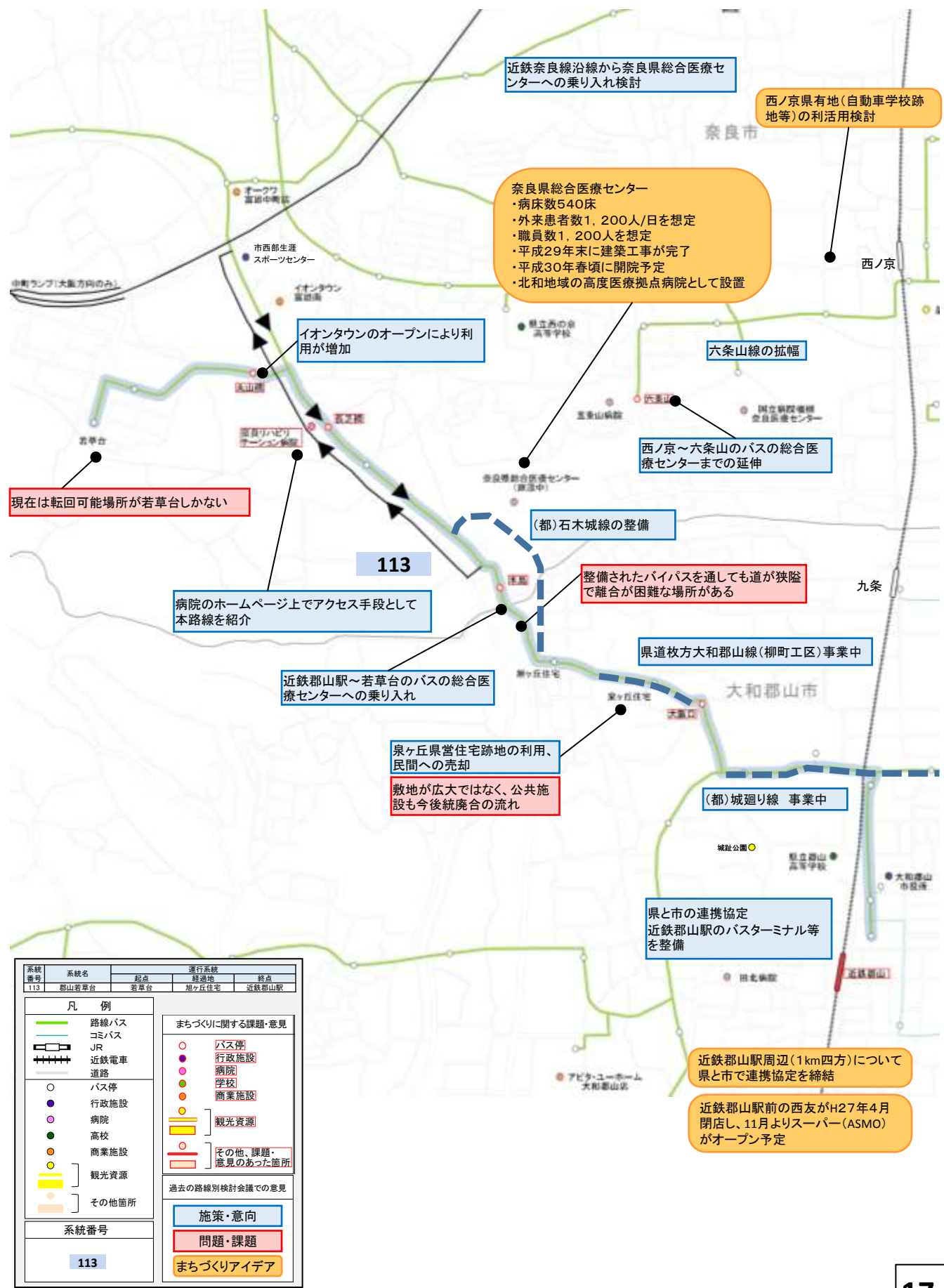
事業①	「奈良県総合医療センター」へのアクセス路線の検討
実施内容	奈良県総合医療センター開院時に、西ノ京駅や近鉄郡山駅からバス路線を運行、また近鉄奈良線沿線からのバス路線を検討
実施主体	奈良県、奈良交通
実施効果	病院へのアクセス確保
実施期間	H28. 4 ~ H28. 12

事業⑤	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業②	(仮称)近鉄郡山駅周辺地区まちづくり事業
実施内容	県と市のまちづくり連携協定の取組として、近鉄郡山駅周辺地区においてまちづくり事業を推進、あわせてバスターミナルの整備等を予定
実施主体	奈良県、大和郡山市
実施効果	バリアフリー化の促進、利便性の向上
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3(H27. 4より実施)

事業③	ノンステップバスの導入
実施内容	郡山若草台線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H30. 3 ~ H33. 3

事業④	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春



系統番号	系統名	起点	運行系統	終点
113	郡山若草台	若草台	旭ヶ丘住宅	近鉄郡山駅

凡 例	
路線バス	まちづくりに関する課題・意見
コミバス	バス種
JR	行政施設
近鉄電車	病院
道路	学校
	商業施設
○ バス停	観光資源
○ 行政施設	その他、課題・意見のあった箇所
○ 病院	
○ 高校	
○ 商業施設	
○ 観光資源	
○ その他箇所	
系統番号	過去の路線別検討会議での意見
113	施策・意向
	問題・課題
	まちづくりアイデア

路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	国道168号の拡幅に伴う、畠田駅の広場整備及びバスの乗り入れバスを利用した観光振興
関係市町村	香芝市、平群町、三郷町、上牧町、王寺町、河合町
主な沿線施設	信貴山下駅、新王寺駅、王寺駅、三郷駅、畠田駅、志都美駅、三郷町役場、王寺町役場、奈良県西和医療センター、西和清陵高校、信貴山朝護孫子寺、リーベる王寺
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤:47.5%(H22)⇒47.5%(H32) 登校:93.3%(H22)⇒93.3%(H32) 通院:31.9%(H22)⇒31.9%(H32)</p> <p>買物(平日):34.8%(H22)⇒34.8%(H32) 買物(休日):20.1%(H22)⇒20.1%(H32)</p> <p>業務:26.0%(H22)⇒32.6%(H32) 観光:47.7%(H22)⇒62.4%(H32)</p> <p>■外出率:78.5%(H22)⇒78.5%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>路線沿線の人口増加率]</p> <p>白鳳台住宅線:131,109人(H26) ⇔ 香芝市・王寺町:100,165人(H26)</p> <p>信貴山線:64,812人(H26) ⇔ 三郷町・王寺町:46,086人(H26)</p> <p>三郷線:18,213人(H26) ⇔ 三郷町・王寺町:46,086人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>畠田駅:723,795人(H25) ⇔ 王寺町:22,499人(H25)</p> <p>王寺駅:12,519,634人(H25) ⇔ 香芝市・三郷町・王寺町:122,750人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>畠田駅:90.4%(H22)⇒90.4%(H32) 王寺駅:78.1%(H22)⇒78.1%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度:H27からH32にかけて上昇</p>

実施事業

事業①	都市計画道路「畠田菩提線」整備事業
実施内容	道168号の拡幅に伴い、畠田駅へのアクセス道路及び駅前広場を整備し、タクシーや路線バス等の乗り入れ、公共交通への案内サイン設置等を検討
実施主体	王寺町
実施効果	利便性の向上、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28.4 ~ H33.3

事業⑤	鉄道駅バリアフリー化
実施内容	JR王寺駅に内方線付点字ブロックを設置
実施主体	西日本旅客鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28.4 ~ H29.3

事業②	観光客の誘客に向けた検討
実施内容	産官学が連携し、観光周遊ルートの設定や1日乗車券の導入を検討
実施主体	王寺町、斑鳩町、三郷町、奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28.4 ~ H33.3(H27.10より実施)

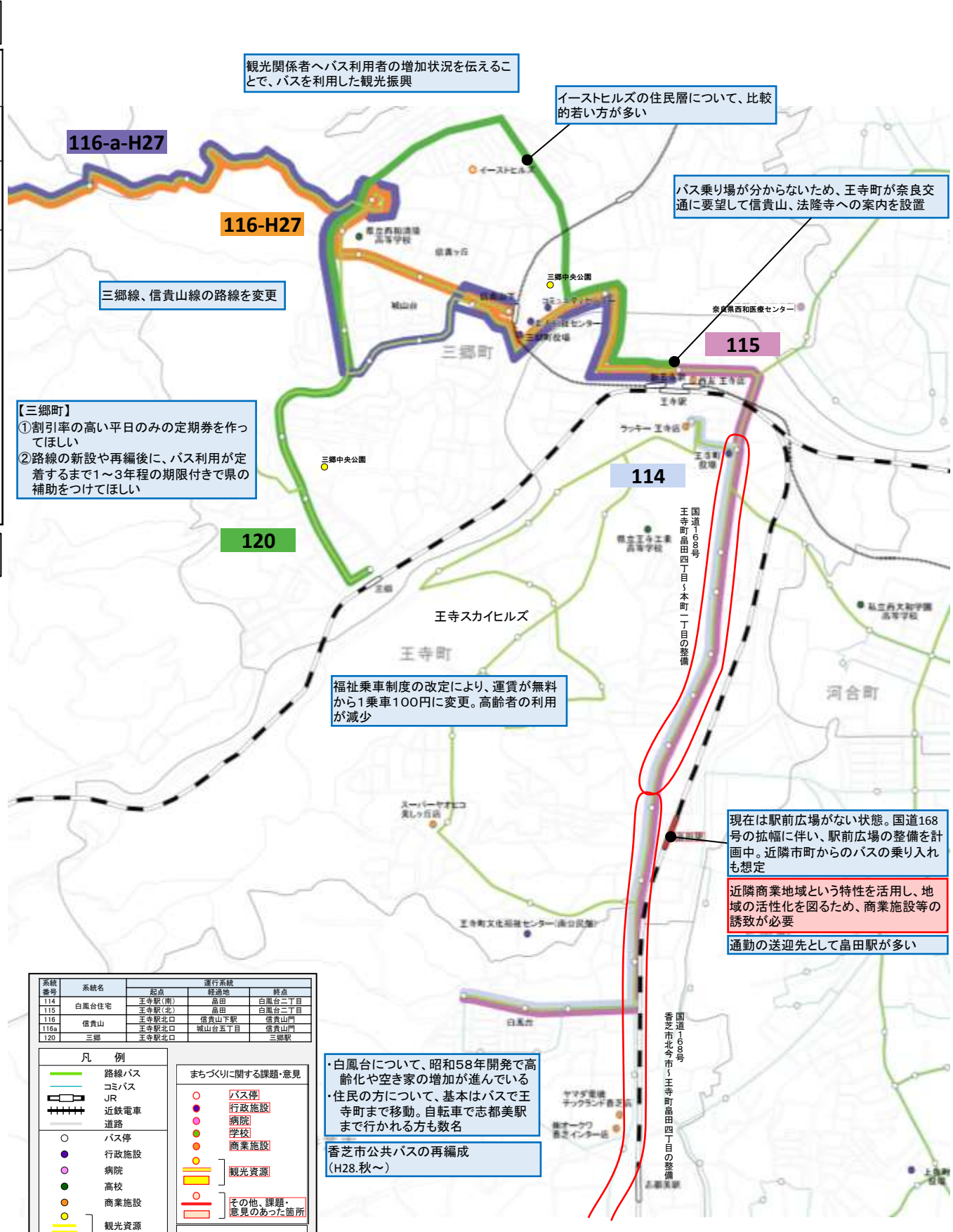
事業⑥	鉄道駅バリアフリー化
実施内容	近鉄信貴山下駅にエレベーターを設置し段差を解消
実施主体	近畿日本鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H31.4 ~ H33.3

事業③	香芝市公共バスの再編成
実施内容	現行の無償の公共バスを市町村自家用有償運送による有償化をし、各バス停での乗降を可能として、公共施設へのシャトルバスから生活交通への転換を図る
実施主体	香芝市
実施効果	利便性の向上、地域公共交通の維持
実施期間	H28.秋

事業⑦	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28.春

事業④	ノンステップバスの導入
実施内容	白鳳台住宅線、信貴山線、三郷線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28.4 ~ H33.3

事業⑧	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28.4 ~ H33.3



系統番号	系統名	起点	運行系統	終点
114	白鳳台住宅	王寺駅(南)	畠田	白鳳台二丁目
115		王寺駅(北)	畠田	白鳳台二丁目
116	信貴山	王寺駅北口	信貴山下駅	信貴山門
116a		王寺駅北口	城山台五丁目	信貴山門
120	三郷	王寺駅北口	三郷駅	

凡例	
緑線	路線バス
青線	コミバス
黒線	JR
黒線(点線)	近鉄電車
黒線(短線)	道路
○	バス停
○(紫)	行政施設
○(紫)	病院
○(紫)	高校
○(紫)	商業施設
○(黄)	観光資源
○(黄)	その他箇所

まちづくりに関する課題・意見	
○(赤)	バス停
○(赤)	行政施設
○(赤)	病院
○(赤)	学校
○(赤)	商業施設
○(黄)	観光資源
○(赤)	その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見	
青	施策・意向
赤	問題・課題
黄	まちづくりアイデア

系統番号
114 115 116-H27
116-a-H27 120
※H27はH27.10に変更した系統

路線・地域の概要

まちづくりの方向性	唐院工業団地の拡大を契機とした、事業者との連携による大和小泉駅、法隆寺駅及び近鉄結崎駅などへのアクセスバスを利用した観光振興
関係市町村	奈良市、大和郡山市、斑鳩町、安堵町、川西町
主な沿線施設	近鉄奈良駅、奈良駅、近鉄郡山駅、大和小泉駅、奈良県庁、県総合庁舎、斑鳩町役場、西の京病院、奈良女子高校、郡山高校、興福寺、なら100年会館、唐招提寺、薬師寺、法隆寺、中宮寺跡
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 50.5%(H22)⇒50.9%(H32) 登校: 92.6%(H22)⇒92.6%(H32) 通院: 45.7%(H22)⇒45.7%(H32)</p> <p>買物(平日): 45.8%(H22)⇒45.8%(H32) 買物(休日): 26.6%(H22)⇒26.6%(H32)</p> <p>業務: 31.5%(H22)⇒36.2%(H32) 観光: 60.5%(H22)⇒66.9%(H32)</p> <p>■外出率: 79.4%(H22)⇒79.4%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>路線沿線の人口増加率]</p> <p>奈良法隆寺線: 156,488人(H26) ⇔ 奈良市・大和郡山市・斑鳩町: 477,450人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率>駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>奈良駅: 6,403,195人(H25) ⇔ 奈良市・大和郡山市・山添村・斑鳩町: 482,332人(H25)</p> <p>近鉄奈良駅: 11,487,343人(H25) ⇔ 奈良市・大和郡山市・山添村・斑鳩町: 482,332人(H25)</p> <p>近鉄郡山駅: 3,723,404人(H25) ⇔ 奈良市・大和郡山市・斑鳩町: 478,465人(H25)</p> <p>■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>奈良駅: 94.8%(H22) ⇒94.8%(H32) 近鉄奈良駅: 94.2%(H22)⇒94.7%(H32)</p> <p>近鉄郡山駅: 87.4%(H22)⇒87.4%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

実施事業

事業①	事業者(工業団地)との連携による駅へのアクセスの検討
実施内容	事業者(工業団地)との連携による大和小泉駅、法隆寺駅及び近鉄結崎駅などへのアクセスを検討
実施主体	大和郡山市、川西町、安堵町
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3(H27. 6より実施)

事業④	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、奈良法隆寺線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ~ H28. 9(毎年PDCA)

事業⑤	ノンステップバスの導入
実施内容	奈良法隆寺線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑥	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 春

事業③	(仮称)近鉄郡山駅周辺地区まちづくり事業
実施内容	県と市のまちづくり連携協定の取組として、近鉄郡山駅周辺地区においてまちづくり事業を推進、あわせてバスターミナルの整備等を予定
実施主体	奈良県、大和郡山市
実施効果	バリアフリー化の促進、利便性の向上
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3(H27. 4より実施)

事業⑦	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

系統番号	系統名	起点	運行系統	終点
117	奈良法隆寺	東大寺大仏殿・国立博物館	小泉	法隆寺前
118		春日大社本殿	薬師寺駐車場・郡山総合庁舎	法隆寺前
119		法隆寺前	小泉	春日大社本殿

凡例	まちづくりに関する課題・意見	
路線バス	バス停	
コミバス	行政施設	
JR	病院	
近鉄電車	学校	
道路	商業施設	
バス停	観光資源	
行政施設	その他、課題・意見のあった箇所	
病院		
高校		
商業施設		
観光資源		
その他箇所		
系統番号		
117	118	119

